

様式第1号（第7条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2020年 12月 21日

和泉市長 あて

団体名「障害」をもつ仲間と共に歩む
和泉若者の集い 実行委員会
代表者名 古宮 弘典

所在地

電話

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	第30回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	410,000 円 (うち、対象経費 230,000 円)
支援金 交付申請額	115,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

団体概要調書

フリガナ	ショウガ イモツカマトモアムイズ ミカノツトイ ショウウイソカ		
団体名	「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い 実行委員会		
団体の目的	障害の有無に関わらず、青少年が一日共に過ごす場、お互いを理解できる場を提供する。		
市内事務所の所在地			
	電話		FAX
フリガナ	カミヤ ヒロシ		
代表者氏名	古宮 弘典		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電話
	フリガナ 杉 171 岸 佑樹		FAX
設立年月	1986年 9月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有(3回発行) ・ 無	会員数	15人
メールアドレス	@		
ホームページ	https://izumi-wakatsudo.jimdofree.com		
主な事業内容	年に一度、【「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い】を開催している。イベントの中では、出店、舞台発表、交流を企画し、障害の有無に関わらず、青少年が交流し、お互いの学びになる一日を提供している。		
主な活動の実績	34年間にわたり、活動をしている 2004年に大阪府から大阪府福祉ボランティア表彰を受賞 地域のイベントの1つとして根付いている		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	2020	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業「ちよいす」	－円(コロナの影響により)
	2019	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業「ちよいす」	103816円
	2018	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業「ちよいす」	69495円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第3号（第7条・第15条関係）

事業計画書

1 事業名	第31回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 ・ 障害者への偏見、差別 ・ 障害のある子どもの未就学実態 ・ 障害のある子どもの進路実態	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 ・ 障害者への偏見、差別の解消 ・ 障害のある子どもの進路保障 ・ 障害の有無に関わらず、すべての人たちが自分らしく生きる地域社会の創造	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 障害者への偏見、差別をなくすためには、同じ時間に同じ空間で過ごすことが大切である。事業では、出店、交流、発表などをおしてともに過ごすことができる。その中で、対話や協働を通して互いのことを知り、それぞれがこれからの一人ひとりを大切にする生き方につなげていく。 また、当日だけでなく、事前・事後での各団体でのとりくみや、参加者が集う機会をつくることで、より深くかかわることができる。	
②実施期間（日時）	2021年11月14日（日）実施予定
③実施場所	エコールいずみ アムゼ広場
④主な対象者	和泉市民を中心に、イベントに興味のある人すべて
⑤参加予定者数	300人
⑥告知方法	ブログ・ホームページ・Facebook・Twitter・広報

5 事業スケジュール

次期(月)	内容
4月	実行委員会募集
5月	第1回実行委員会
6月	第2回実行委員会
7月	第3階実行委員会
9月	第4回実行委員会
10月	出店・舞台発表についての説明会
11月	第5回実行委員会 参加団体による交流会
12月	第30回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い ふりかえり会

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

(実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)

①公益性	この事業が始まった当時の状況は、障害のある子どもの未就学の状況が各地域にまだ多く残る状況があった。そんな中、地域に暮らすすべての子どもたちが地域の学校に通い、仲間とともに過ごし、ともに学べるようにしていく運動の中で、その一助となるようにと、思いをもって取り組んできた。34年間の営みの中で、社会の状況が改善してきた部分があるが、障害のある子どもたちの進路保障についてはまだまだ課題が残っている。その課題を解決していくために、また、障害者への偏見・差別の解消に向けた事業にしている。
②継続性	34年継続している事業である。和泉市内の各学校園所、作業所と連携することにより、事業の成果を広く知らせることができている。また、「参加協力券」という形でカンパ金を募り、自主財源の確保にも努めている。令和2年度は集合型の実施はできなかったが、次年度の事業につながるとりくみをすすめている。
③実行性	事業の目的を実行委員会で毎回確認しながら進めている。平成30年度から会場をアムゼ広場に変更したことで、これまで継続して参加していた団体が参加できないということがないようにするため、送迎バスのレンタルの費用を予算に計上するなど予算確保に努めている。中心となる人材は継続して運営に参加する一方で、この事業の意義を理解し関わる人材を事業の参加者の中から、さらに確保していく。
④協働性	会場の施設を使用する一般の方も参加することができ、幅広い世代で交流できるようになっている。出店や交流を通して、市民と各団体が一体となり、事業の目的達成に向けてとりくむことができる。
⑤公開性	和泉市の広報冊子や独自にSNSなどを用いて、周知活動にも努めている。平成30年度から、会場をアムゼ広場にするすることで、参加団体だけでなく、会場の施設を使用する一般の方も参加することができ、幅広い世代で交流できるようになっている。
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	毎回、事業後にはふりかえり会を実施し、成果と課題を明らかにしている。その内容をもとに、次年度のとりくみに活かしている。事業をより良いものにしていくため、参加者の交流方法や、レクリエーションの内容等、改善できる部分は改善し、新しいことに取り組んでいくことも考えている。子どもたちの参加も多いことから、その子どもたちが育っていくなかで、将来に向けて、いろんな地域にこの事業の意義を広げていくことができる。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称：第31回「障害」をもつ仲間と共に歩む和泉若者の集い

1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	115,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	115,000	協力金(200円×575人)
自主財源	180,000	金券販売額
合計	410,000	

2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠(数量、単価等)
報償費	2,000	講師謝礼(1000円×2人)
消耗品費	20,000	紙代・事務用品・資料送付用封筒代
印刷製本費	40,000	報告書冊子印刷代
役務費	8,000	郵送代・行事保険料
使用料及び賃借料	160,000	送迎バス一日レンタル代(2台分)
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
その他(対象外経費)	180,000	金券回収費
合計	410,000	
対象経費	230,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。